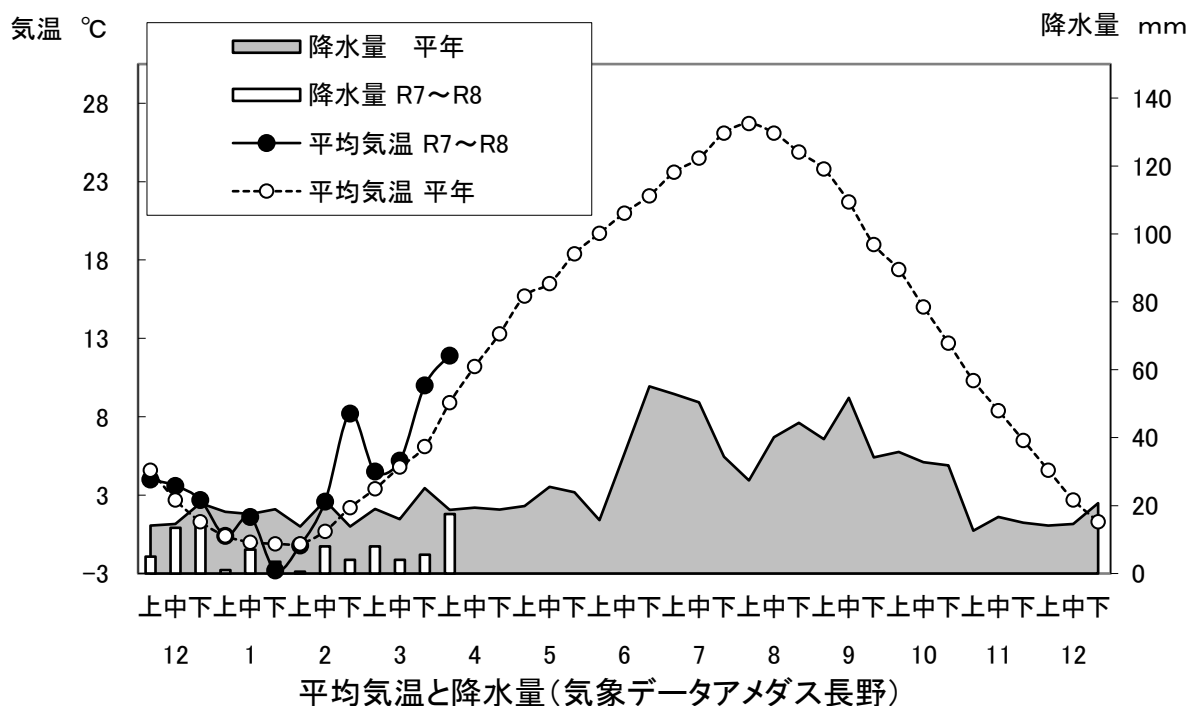


農作物の生育状況（4月15日現在）について

令和8年4月15日
長野農業農村支援センター

【気象データ】



【麦類】

麦の生育進展は平年より早く、昨年並み程度。

千曲市の11月上旬は種の「シュンライ」は茎数770本/m²程度であり、3月12日に幼穂形成期となり、3月末に莖立期となった。千曲市の10月下旬は種の「ユメセイキ」は茎数1,100本/m²程度であり、3月25日に幼穂形成期、4月2日に莖立期となった。一部では縞萎縮病による生育停滞が見られる。

長野市の「しゅんよう」は、11月上旬は種が茎数880本/m²程度であり、いずれも3月27日に幼穂形成期、4月5日に莖立期となった。

長野市の「ハナチカラ」は、11月上旬は種は茎数1000本/m²程度であり、3月27日に幼穂形成期、4月9日に莖立期となった。3月下旬からオオブタクサの出芽が確認されており、4月1日から防除が開始されている。

【果樹】

りんご「ふじ」の発芽は長野市共和地区で3月22日、飯綱町倉井で4月3日、長野市共和の展葉が4月2日で平年より1週間程度早くなっている。もも「川中島白桃」の発芽は長野市川中島で3月27日昨年より2日早くなっている。あんず「平和」の満開は千曲市で3月29日と、平年・昨年比ともに3日早くなった。

【野菜】

(1) アスパラガス

平坦部の半促成作型の施設は3月上中旬より萌芽～収穫中。露地作型について今後温度も上がり、降水量も順調にあれば4月20日ごろより萌芽が増える見込み。

(2) 果菜類

定植後の加温状況により生育差がみられる。半促成加温作型キュウリの生育は昨年並みに推移している。ハウストマトについて、5月上旬には収穫予定。夏秋イチゴの定植について8割程度定植終了。

【花き】

長野市のシャクヤクは、草丈 60 cm～70 cm程度となっている。リンドウについては、草丈 15 cm程度になっている。

【畜産】

永年性牧草は伸長期、草丈は 10～15cm 程度まで伸びている。